

令和元年6月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「自動車」などは増加したものの、「鉱物性タール及び粗製薬品」、「プラスチック」などが減少したことから対前年同月比11.1%の減少となった。また、輸入額は「石油製品」などが減少したものの、「液化天然ガス」、「原油及び粗油」などが増加したことから、同7.7%の増加となった。

その結果、差引額は743億円（同30.3%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	604億円	▲11.1%	1,347億円	+7.7%	▲743億円	+30.3%
	2カ月連続の減少		2カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車	44億円	19倍	増加品目	(1)液化天然ガス		271億円	+45.0%
		(2)科学光学機器	23億円	+68.8%		(2)原油及び粗油		721億円	+6.8%
		(3)自動車の部分品	62億円	+13.1%		(3)石炭		34億円	+25.9%
	減少品目	(1)鉱物性タール及び粗製薬品	15億円	▲69.2%	輸入	(1)石油製品		47億円	▲23.7%
		(2)プラスチック	46億円	▲21.1%		(2)半導体等電子部品		7億円	▲65.6%
		(3)有機化合物	56億円	▲15.8%		(3)有機化合物		17億円	▲35.9%
	地域別動向					地域別動向	増加：大洋州、北米など 減少：中東欧・ロシア等など		

（参考）ドルレートは、109.05円（前年同月比0.7%、0.81円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同月との比較による。